

世代を超えて支え合う地域の拠点

こども食堂 青空（敦賀市）

SDGsに貢献！

- ・食を中心に、地域の子どもと大人がつながる多世代交流の場をつくる
- ・学習と体験の機会を提供し、子どもたちの健やかな成長を支援する



1. アルブラザ敦賀で開催した「青空学習会」 2. 「おくちからだプロジェクト」の紙芝居の様子 3. こども食堂では、子どもたちもデザート作りに参加

取り組みのきっかけ

充分な食事をとれない子どもや、孤食を続ける子どもに食事や居場所を提供したい。「青空」を立ち上げたときのこの思いは、SDGsと共通する、私たちの活動の原点です。子ども食堂は、子どもから高齢者まで利用できる“地域の居場所”であり、その中から見えてくる課題もあります。事業運営にSDGsの視点を加えることで、多世代交流や地域の連携、高齢者の生きがい創出、子育て支援、虐待防止、孤食回避などの活動がより進むと考えました。

特に注力しているSDGsの取り組み

「青空」に来る子どもたちは、友達と遊んだり、さまざまな経験を持つ多様な世代の大人と交流したりすることができ、新しい価値観との出会いが人生の選択肢を広げと思っています。宿題など勉強の場を提供する「青空学習会」や、企業との連携事業で、歯と口の健康を学ぶ「おくちからだプロジェクト」の体験キットを使った正しい歯磨きの学習・体験等も実施しています。これからも企業や教育関係者にご協力いただきながら、子どもたちの生活や学習を支援していきます。

担当者の思い

代表 中村 幸恵さん

開設から8年経ち、中学生のときから「青空」に来ていた子の中には、他県で働きながら、その地域の子ども食堂のスタッフとして活動している子もいます。また、小学生だった子が高校生になり、「青空」の運営に参加してくれるなど、日々の活動の中で、こども食堂とSDGsの意義、人々に及ぼす力の大きさを感じています。



Company Information

こども食堂 青空

住所 / 福井県敦賀市津内町

事業内容 / 子ども食堂、学習支援事業、フードドライブ、フードパントリー事業

創業年 / 2015年

代表者 / 代表 中村 幸恵

従業員 / 29名

<https://kodomo-aozora.org/>



団体ホームページ